

手術前休薬期間の目安は、あくまでも「目安」ですので、出血リスクと休薬による血栓症・塞栓症発症リスクに応じてご判断ください。

★抜歯、白内障手術、体表の小手術で術後出血への対応が容易な場合等は、ワルファリンや抗血小板療法継続下での実施が推奨されている※1,7。

Table with columns: 分類 (Classification), 一般名 (Generic Name), 商品名 (Product Name), 休薬期間の目安 (Discontinuation Guidelines), 消化器内視鏡診療 (Gastrointestinal Endoscopy), 単剤 (Single Agent), 2剤併用 (2-agent combination), 3剤併用 (3-agent combination). Rows include Aspirin, Clopidogrel, Prasugrel, Ticagrelor, Dabigatran, Rivaroxaban, Apixiban, Warfarin, etc.

<参考文献>
※1 「循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン」2008年 日本循環器学会
※2 「心房細動(薬物)ガイドライン2013年改訂版」日本循環器学会, 日本心臓病学会, 日本心電学会, 日本不整脈学会
※3 「脳卒中治療ガイドライン2009」2009年 日本脳卒中ガイドライン委員会(日本脳卒中学会, 日本脳神経外科学会, 日本神経学会ほか)
※4 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」2012年 日本消化器内視鏡学会
※5 「手術医療の実践ガイドライン」2013年 日本手術医学会
※6 「EHRA PRACTICAL GUIDE」:非弁膜症性心房細動患者における新規抗凝固薬の実用ガイド(2012年), European Heart Rhythm Association
※7 「科学的根拠に基づく抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン2010年版」日本有病者歯科医療学会, 日本口腔外科学会, 日本老年歯科医学会

出血危険度による消化器内視鏡の分類

1. 通常消化器内視鏡

上部消化管内視鏡(経鼻内視鏡を含む)
下部消化管内視鏡
超音波内視鏡
カプセル内視鏡
内視鏡的逆行性膵胆管造影

2. 内視鏡的粘膜生検(超音波内視鏡下穿刺吸引術を除く)

3. 出血低危険度の消化器内視鏡

バルーン内視鏡
マーキング(クリップ、高周波、点墨、など)
消化管、膵管、胆管ステント留置法(事前の切開手技を伴わない)
内視鏡的乳頭バルーン拡張術

4. 出血高危険度の消化器内視鏡

ポリペクトミー(ポリープ切除術)
内視鏡的粘膜切除術
内視鏡的粘膜下層剥離術
内視鏡的乳頭括約筋切開術
内視鏡的十二指腸乳頭切除術
超音波内視鏡下穿刺吸引術
経皮内視鏡的胃瘻造設術
内視鏡的食道・胃静脈瘤治療
内視鏡的消化管拡張術
内視鏡的粘膜焼灼術
その他

引用:抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン2012